

入札に関する質問、回答

工事名：県道直方鞍手線新入大橋橋梁上部工工事

掲載日	質 問	回 答
6/29	技術提案 評価項目：労働安全対策について 評価内容：桁架設時（横組・連結等含む）における作業員に対する労働安全対策について工夫を述べること。 と記載がありますが、 A1 背面で行うセグメントの搬入や荷卸し、桁接合作業も評価の対象に含まれるでしょうか。 ご教示お願い致します。	桁の現場到着以降の荷下しや桁接合作業については評価対象といたします。 桁の運搬に関する提案は対象外といたします。
7/1	質問 1 ・施工で利用できるヤード範囲のわかる資料を頂けないでしょうか。 質問 2 ・主桁架設は昼間で考えていますでしょうか。 質問 3 ・A1 橋台背面の横断道路は通行止めとなるのでしょうか。 質問 4 ・架設桁の解体は A2 橋台背面でしょうか。その際 A2 橋台背面の横断道路は通行止めとなるのでしょうか。	添付の図面をご参照ください。 昼間で考えています。 通行止めを想定しています。 解体は A2 橋台背面を考えています。添付の図面をご参照ください。通行止めは想定していません。

7/9	① A1 背面の市道について A1 背面ヤードと民家間にある市道は、セグメント搬入時など、必要な時間帯に全面通行止めを行うことは可能でしょうか（※写真の赤枠）。ご教示願います。  ② 特記仕様書第 16 章 施工条件 1) 工程関係 「河川区域内における作業期間は、非出水期（9 月 21 日から 6 月 10 日まで）とする。」との記載がございます。出水期において、全体一般図の「H.W.L TP+10.26m」を下回らない範囲に、足場（吊り足場、橋脚足場等）の存置は可能でしょうか。ご教示願います。 ③ A2 背面ヤードについて 架設機械を解体する A2 施工ヤードの範囲及び出入口のご提示をいただくことは可能でしょうか。 ④ A1 橋台について 現在 A1 橋台は、舗装等で覆われておりますが、舗装等の撤去は別途発注工事との認識でよろしいでしょうか。また、A1 橋台はすでに完成しているとの認識でよろしいでしょうか。ご教示願います。	対象市道の全面通行止めは想定しておりません。今後、全面通行止めが必要となる場合は関係者と協議を行います。 足場存置の可否については河川管理者との協議となります。 添付図参照 舗装撤去、A1 橋台前面の暫定護岸工撤去および完成護岸工設置等の工事は、別途発注工事とする予定です。 本工事で施工する（パラペット、桁かくし等）以外については、完成しています。なお、A2 橋台も同様です。
------------	--	--

7/17	A 1 背面ヤードの工事用車両出入口の設置位置は、福岡県道 4 7 2 号直方鞍手線沿い、または A 1 背面ヤードと民家間にある市道沿いのどちらで計画されていますか。ご教示をお願い致します。	添付資料参照
7/9 (再回答)	②特記仕様書第 16 章 施工条件 1) 工程関係 「河川区域内における作業期間は、非出水期(9 月 21 日から 6 月 10 日まで)とする。」との記載がございます。出水期において、全体一般図の「H. W. L TP+10. 26m」を下回らない範囲に、足場(吊り足場、橋脚足場等)の存置は可能でしょうか。ご教示願います。	河川管理者との協議により、出水期の仮設物の存置は治水上認められません。
7/29	1. 設計書の内訳書について 共通仮設費の技術管理費において、コンクリート供試体送料および鉄筋試験体送料の数量が明示されておりませんので、ご教示願います。	1. 技術管理費におけるコンクリート供試体送料及び鉄筋試験体送料の数量については下記の通りです。 コンクリート供試体送料 N=29 セット 鉄筋試験体送料 N=4 セット

	2. 回答について 7/17 に「河川管理者との協議により、出水期の仮設物の存置は治水上認められません。」との回答がありました。 出水期に H.W.L + 余裕高以上の位置においても、足場等の存置が出来ないとの認識でよろしいでしょうか。その場合、現工期では工事完了が厳しいように考えます。そのため、出水期の期間は「土木工事設計変更ガイドライン・工事一時中止に係るガイドライン」に基づき、一部一時中止（ゴム支承や桁製作は稼働）および工期延長の協議は可能でしょうか。 3. 金抜き設計書について 技術管理費のコンクリート供試体送料および鉄筋試験体送料の回数を教えてください。	2. 受注者の責めに帰することができない事由による工事中止や工期内に工事を完成することができない場合は、土木工事共通仕様書「1-1-1-18 工期変更」に基づき、発注者と受注者の間で協議を行います。 3. 技術管理費におけるコンクリート供試体送料及び鉄筋試験体送料の数量については下記の通りです。 コンクリート供試体送料 N=29 セット 鉄筋試験体送料 N=4 セット
--	--	--